

決算報告

若狭町 令和2年度

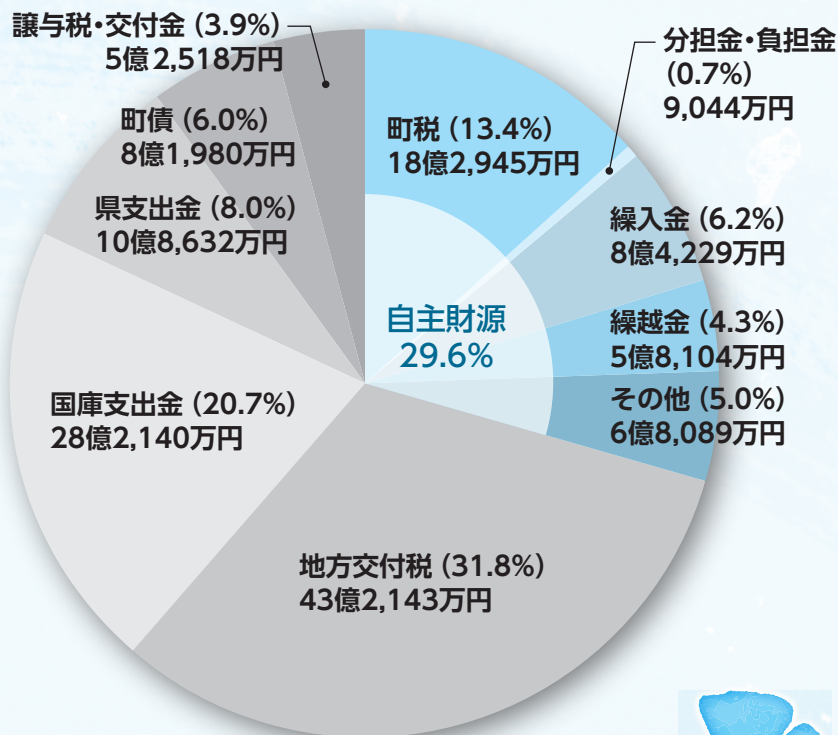
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立などに対応するため、9回の補正予算を編成しました。その結果、歳入決算が135億9,828万円、歳出決算が128億8,776万円となりました。今後も引き続き、感染拡大の防止と住民生活の安定を図り、行財政改革プランを継続しながら、財政の健全化に努めます。

一般会計 歳入

135億9,828万円
自主財源=29.6%

歳入総額は、前年より約28億8千万円増加しました。

令和元年度決算と比べると、新型コロナウイルス感染症対策費を含む国庫支出金が約21億5千万円、地方交付税、町債がそれぞれ約3億5千万円、繰入金が約3億円増加となっています。



令和2年度の主な事業

新型コロナウイルス関連

- ・特別定額給付金
- ・若狭町出身学生へ支援品の送付
- ・災害時用感染防止資機材の整備
- ・全世帯へ生活応援商品券配布
- ・子育て世帯へ給付金、布マスクの支給
- ・公共施設の感染症対策（消毒、検温、アクリル板等）
- ・スマホアプリ導入による図書館の安全性、利便性の向上
- ・融資を受けた中小企業等への応援給付金
- ・休業要請協力金の納付にかかる町負担金
- ・プレミアム付きお食事券の発行、販売
- ・感染予防取組宣言事業者へステッカーの配布、必要経費の支援
- ・県内8町で消費支出を行った県民を対象に特産品の贈呈（町村会共同事業）
- ・新しい様式の手法を検証するイベントに対する支援
- ・宿泊施設および観光施設の割引クーポン券発行事業に対する支援
- ・県内修学旅行に対する費用負担
- ・ワクチン接種体制の整備

タブレット端末整備 (GIGAスクール構想)

町立小学校および中学校の全児童生徒に学習者用端末を、各校に学級数分（特別支援学級含む）の教員用端末を整備しました。

若狭アドベンチャー ツーリズム拠点整備

トレイルコースの整備を基軸にし、河内川ダム周辺や若狭森林公園の山村資源（大自然）と、熊川宿の歴史資源（文化財）を最大限活かしながら、体験・アクティビティを満喫できるプログラムを充実させるための整備を行いました。

B&G体育館リニューアル

三方B&G海洋センター体育館の、屋根防水・外壁塗装・アリーナ床シート張り・照明のLED化等の修繕を行い、町民のスポーツや健康づくりの拠点と指定避難所としての機能向上を図りました。

【数値について】※広報では、万円単位で表示している関係上、端数が一致しない場合があります。
※一人あたり、世帯あたりは3月31日の人口・世帯数で除算しています。

支出は住民一人あたり約90万円、世帯あたり約258万円

令和2年度一般会計の歳出を見ると、128億8,776万円の支出となり、住民一人あたり約90万円、1世帯あたり約258万円が使われたことになります。

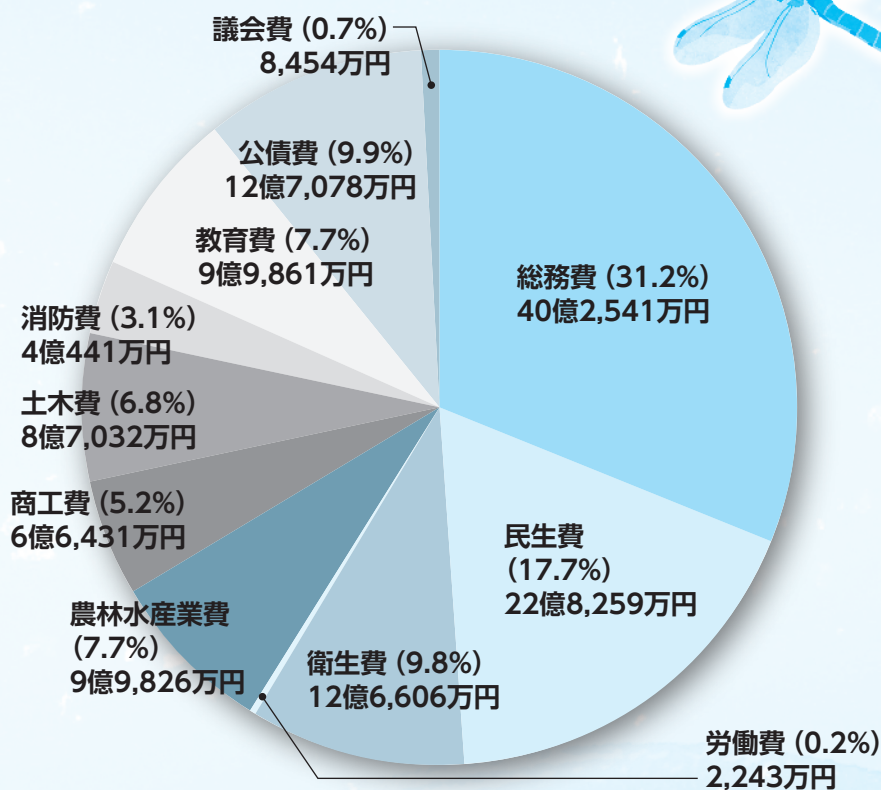
一般会計 歳出

128億8,776万円

歳出総額は、前年より約27億5千万円増加しました。

主に、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施した特別定額給付金事業のほか、三方地域ケーブルテレビネットワーク更新事業などを含む総務費が約23億2千万円、衛生費、商工費、教育費がコロナウイルス関連で、それぞれ約1億5千万円増加となっています。

歳入から歳出と翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、5億4,936万円となりました。



議会費



議会活動に要した経費です

総務費



全般的な管理・企画や徴税、戸籍等の事務などの経費です

民生費



高齢者・障害者・児童福祉、保育園運営費等の経費です

衛生費



ごみ処理や環境対策・健康づくりのための経費です

労働費



労働や失業対策などの経費です

農林水産業費



農林業の振興や、土地改良などの経費です

商工費



商工業の振興や観光事業の経費です

土木費



道路整備等の建設や管理の経費です

消防費



消防・防災対策の経費です

教育費



小中学校・公民館の運営やスポーツ振興の経費です

公債費



借り入れた町債（借金）の返済（元利償還金）の経費です